

令和7年度松江市男女共同参画に関する
市民意識調査報告書

自由記載回答一覧

問3-2. 市の政策に女性の意見や考え方が反映されていないと思う理由は何ですか。

1	松江市はまだ保守的な慣習（意識、男女の地位）が強い
2	市の政策が何をしているかわからない
3	男女ではなく年配者の言葉が優先されていると思う。年配者には男性が多い為（年配者が女性に対しての意見を聞いていない）
4	女性の声が聞こえてこない
5	私は耳が不自由なので身体障害者として説明してほしい
6	市や議会等に女性が少なく男性主導の枠組みなどが見えるため（女性の重役や委員長が少ない）
7	公の場に於いて女性の意見、考え方が充分紹介されていない。取り上げられていない。ビフォー、アスターの比較が少ない。
8	市長含め幹部に女性がいない
9	そもそも市の政策でどんなことをしているのかが分からない
10	意見や考え方を反映させるより、方向違いの政策でやりました感を出すことが優先されてるのではないのでしょうか。まあそんなことといえば女性の社会参画以外でもそうかもしれませんが。

問4. 一般的に、女性が仕事をする事について、あなたはどのように考えますか。

1	結婚、子どもに関係なく働きたければ働けば良い
2	女性だから子育てするとかずっと仕事を続けると言うより、女性でも男性でも子育て出来る人がすればいいと思う
3	個人の意思による
4	仕事をしたい女性が働ければよし、その環境が望ましい
5	上記は人によって希望が異なると思うのですが、主に財政面や子どもの発達で自由に選択できないことが多くあると思います。また子どもが出来たら辞めて大きくなったら・・・だと正規で職を探すのはかなり難しくなるので、自由な選択がしやすくなればと思います。
6	女性も働かないと食べていけない世の中
7	ずっと働ける環境を作ってあげればずっと続けるべき
8	自分が良ければ1~5 いずれでもよい。どうすべきとは考えられない。一般的とはどういうことでしょうか
9	収入、女性の能力にもよります
10	その時の状況で選択すれば良いと思う
11	自分の好きなようにやれば良い
12	各家庭の事情（夫婦、形態）により自由に選ぶ
13	本人の意志、周りの環境で判断する
14	個人の自由。結婚しても生活維持の為に続けるしかない場合もある
15	収入が多ければ子どもの為に家にいると良い
16	本人の自由
17	仕事をしたい時にすれば良いと思う
18	子どもを優先にして仕事を出来る環境を作る方が良い
19	個人の価値観なので他人がどうこう言うことではないと思う

20	女性でも能力があれば、仕事を続けた方が良い。出産にかかわらず。
21	自分がしたいようにすれば良い
22	人それぞれでいいと思う
23	続けたい方は続け、辞めたい方はやめる自由。続けるには男性の育児休業等、充実させる必要がある
24	4 だが、子どもといられる 5 を選べるように公務員の 3 年育休など、何でも公務員だけの制度で田舎の一般企業は違う
25	どれも正しいと思う
26	自分の仕事に対する情熱により、続ける続けないを決めればいい
27	個人の自由
28	子どもが出来たら夫婦で子育て。父母の協力を得て。
29	仕事をするしなは個人の自由
30	家庭の事情によって大きく異なると思う
31	個人の家庭の選択であり、社会が介入すべきでない
32	家庭状況や本人の考え方がるので何とも言えない
33	出来ることならば施設に預けて出来るだけ働いた方が良い
34	その家庭に合った方法でやってほしい。必ずこれと言う事はなし
35	女性本人の意見で仕事をするかやめるか決めるのが良い
36	女性や家族で考えたら良いと思う。仕事をしたい人（外で）はそうしたらいい。家事もれっきとした仕事。外で働く以上に大変なこと。
37	何の為の間か理解出来ない。答えは 5 にしたいのですが、男性だけの給料で生活出来る人がどれだけいるのか。女性が働かないと生活が成り立たないのではないですか！
38	自分のライフスタイルによるので一概には言えない
39	ケースバイケースなので質問に片寄りがあるように思います。その人の人生なので仕事の仕方はそれぞれだと思います。
40	本人の体力によって決めれば良いと思う

41	人間は仕事をすればよい
42	働きたければ働けば良いし、働かなくても良いのであれば働かなくても良い
43	本人が仕事を続けたいか辞めたいかで決めればよい
44	私自身は子供が小さい時は自分でみたかったのでそうしましたが、本人（親）次第でいいと思います。
45	それぞれにそれぞれの環境、他があるので、それらをよく考えて良き方法を出していけばと思う
46	時と場合によると思うが、産後ゆっくりできる時間が必要だと思う。お金ばかりかかって大変
47	男性側の収入や家庭の事情による
48	家庭によるが1度は仕事に就いて働くべきだと思う
49	個人個人で違うので何とも言えない
50	個人の価値観に委ねるしかない
51	完全に仕事を辞めるというのは今のご時世難しいが、子を育てることはやはり親がするべきことなので、仕事をセーブしつつ（パート等）子育てができるとベストなのは。
52	どうするかは当事者が決めること
53	その家庭で話し合っただけで決めることである！！
54	出来る範囲で仕事を続けてほしい
55	女性も仕事を続けた方が良いとは思いますが、現実には女性の負担が大きすぎる
56	女性個人の考え方に任せる
57	仕事はずっと出来る環境はいいと思うが、仕事をしないと生活が出来ない。将来に不安がある環境が問題
58	人によるので仕事を続ける方が良いとも言えない
59	仕事を続けるか辞めるかは本人が決めるべきだと思う
60	育児や家庭環境において可能であれば仕事に就いた方が良い
61	人それぞれ

62	産休、育休を取得し社会全体で子育て支援できる環境をつくれば、女性でも仕事をしながら家事、育児が出来ると思う。男性も子育てを女性と対等にするのが当たり前の世の中だと良いと思う
63	好きにすれば良い。
64	国民の義務に勤労と納税があるため、働きたいと思う人は働くべきだと考えます。
65	女性というひとくくりの考え方自体に無理がある
66	個々の自由
67	どうしたほうがいいのかはなく、それぞれの事情に合わせて選択できればいいと思う。
68	それぞれの事情などに応じて決めれば良い
69	家族全員で話し合っ決めれば良い事だ。
70	女性が、というよりは本人が各々の状況、志向、思想、環境等において決めるべきだと思う。
71	社会が一つの価値を提示・強要しないほうがよい
72	本人や夫婦で一番いい選択をすればいいと思う
73	女性のキャリア化が少子化を招いてるのは事実だと思う。更にいえば、女性を役職につけろという強制的な共同参画によって能力がないのに役職につくことが多く、仕事の割当負担が増している
74	型にはめなくてもよいと思う。自然体でいいのではないかな。
75	働く働かないは本人の自由
76	本人の意思と生活状況によると思う
77	仕事をしたい人はすればいい。そもそも女性が仕事をするということについてという質問自体がおかしいと思う。
78	結婚や子供関係なく自分のタイミングで仕事をしたりやめたりできるのが理想
79	状況によって決めればいいと思う
80	本人の意思次第、子供ができて仕事も続けたければやればよいと思う
81	働き方は個人の自由だと思う

82	家庭の中の役割が平等であれば、女性が望めば仕事をすれば良いと思う。
83	男性側の働く時間を短くすることで女性側と差がでにくくすることも考えた方がいいのでは。
84	ライフスタイルに関わらず、女性が自分の意思で働けるのが理想です。
85	老若男女様々な考え方の方がいるが、それぞれその方の希望が選択できるのが一番望ましい。

**問5-2. 女性が働き続けていく上で、障害となっているのはどのようなこと
だと思いませんか。**

1	現在は安心して働ける状況の職場が少ない
2	育児は母親という意識が社会的に根強く、子どもの病気等も母親が対応することが多いのでそちらのことをしていると仕事がしにくいと思います。
3	よくわかりません
4	社会参加に対して男だから、女だからという社会的な意識が強い
5	夫の協力が必要
6	組織の上層部（男性）に、封建的な考え方を持っている方が多数在籍している
7	家庭で子どもと過ごす時間がとても少ない
8	社会全体のシステムが男性の長時間重労働になっていて、家事、育児などに女性の負担が大きい
9	家事、育児、介護との両立が難しい
10	子どもや親の病院受診等、休みが取りにくい
11	男性の育児参加に十分な制度が整っていない
12	男女平等に働こうと思えば6になる。6の場合、預ける場所が田舎は少なく選べない。高額
13	子供がいて核家族の場合、急に子供が病気や事故の場合、預ける所がなく急な休みを取ることで迷惑かけて申しわけなかったと思います
14	家族のように育児を協力してくれる人が欲しい。夫には手続ではなく、自分の子を一緒に育てている自覚を持って欲しい
15	現在の働き方は子育てや介護を無視し、人間性を尊重しない構造になっているから。人間を産み育てること、生活環境を整えることが非常に軽んじられており、子供を産み育てたいという気持ちを削がれるから。今まで母親だけにそうした無償労働を強いており、男親が家事育児を軽視しているから。
16	時短勤務等の柔軟な働き方ができにくい
17	休み、時短を取ると周囲に負担をかける
18	育児期に安心して生活できない課題が多い。アンケートの「働く」の捉え方が建前を

	感じる
19	雇用形態のあり方について柔軟性が足りない
20	子どもの発熱や行事などで仕事を休むという役割が母になりがち。逆に言うと父親は会社等において子どもの都合で休む、早退するということがしにくいような周囲の目があると思う。
21	職場が男性主導的な空気が強いと思います。
22	一般的に体力的男女差があると思う
23	男性に家庭労働に時間を使えるか？
24	健康状態
25	一人親なので働かざるえない。働かないと生活できない
26	子供の体調不良で休んだり早退しなければならず、パートさんや他の社員に迷惑をかけてしまうから働きたくても働きづらい
27	子どもの病気、習い事等の対応のほとんどが母親で、職場に OK をもらっても少なからず罪悪感を感じる方が多いのではと思う
28	家庭の都合を伝えて休むなどが難しい
29	社会の良識
30	妊娠や出産
31	税制控除面で女性にも甘えがある
32	男性よりも産休、育休で職場を離れる期間が多く、長くなってしまうから
33	子どもの病気、学校行事など、女性が仕事を休まなければならない場合が多い。介護についても同様。
34	出産は女性しかできないため、その時期はどうしても休むしかないため。
35	仕事と家庭の両立の困難さ
36	私、自身が出産育児に邁進していたのが、(子どもが幼い頃)10年以上前になるので、その頃との社会通念等、随分変わってきているとおもいます。
37	女性に限らず育児期間の家庭の負荷が高く、仕事との両立がやや難しい。

問8. 総務省の「令和3年社会生活基本調査」によると、島根県では女性に比べて男性の家事・育児・介護の時間が短い状況にあります。あなたは、男性の家事・育児・介護の時間が短いのはなぜだと思いますか。

1	高齢になればお互い協力して仕事をすれば良いと思う
2	その家庭事情に合った生活が出来さえすればいいのでは
3	相対的に核家族の比率が低いから→祖父母が孫の面倒を見る
4	賃金が低いので男性が正規で働いてもらい、女性が非正規等で子どものフォローをしなければならないところもあると思います（残業をせず保育園の送迎が可能な時間で、突発的なことを含めて休みが多いという状態だと正規は難しいです）。
5	夫が役に立たないから自分でせざる得ない
6	男性は全くする気がないから
7	家事、育児、介護のやり方がわからないから
8	家事、育児、介護共に男女でも得意分野があると思うので、△にしたい所がいくつかあります。
9	同居の年配者の理解が得られない
10	1人暮らし
11	ロールモデルがない
12	昔からの地域の差
13	うちの場合は私（女性）がやりたいからしている面と夫の意識が低いせいだと思います
14	男性の収入が多い場合が多いから
15	女性が働きにくい（扶養があるから）
16	単に収入の問題だと思う
17	両者合意の役割分担
18	男性は家計を守るため働かざる得ないから

19	幼い頃、男性への家事を教える風潮がないから
20	やる気がないから
21	制度が整っていても浸透してないから、申請しにくい現状があるのでは

問9. 男性の家事・育児・介護への参画を進めるために行政が取り組むべきことは何だと思えますか。

1	行政も介護に対する家での家族の理解（元夫）も不十分で体調崩して今も通院中
2	特になし。全て自由で良い！！
3	何もする必要はない
4	全体的な収入のUP
5	幼少の時から社会参加への平等性を意識させる
6	男性の意識を高める
7	育児休業した際の所得補償
8	休業しても給料、生活水準が低下する事がない様にしてもらわないといけない
9	父親になることの自覚をさせること。責任の取り方は働くだけ、経済的な支えをするだけではないと理解させること
10	休むと周囲に負担をかける
11	子育て、家事を一緒に出来る社会生活環境づくり
12	子供の頃からの意識教育が大切。本人の意識の問題が大きいから。
13	父を見て育つ子は教育の力なくして改善されないから学校教育により理解促進（教育によってかなり若い世代は今の現状はおかしいと感じ始めていると思います）
14	全てが当てはまる。家庭環境の問題
15	人口が減少する理由：全ての対策が必要
16	扶養をなくす。扶養があるから働かない。働けない人は扶養ではなく手当で対応
17	法的整備
18	別に何もする必要はない

19	男性の参画を進めるより、女性が家事、育児、介護をしやすい環境にした方がいいと思う。男女平等だからといって、女性に男性と同じ仕事をしろということがそもそもおかしい。女性は仕事を辞めて給付金をもらいながら育児等に専念した方がこどもの為にも良いと思う。こどもを産みなさい。こどもは保育園に預けて仕事をしなさい。意味がわからない。こどもは何のために生まれてくるのか？男性が参画したら変わりますか？
20	自分も仕事優先で過ごして来た反省もある
21	そもそも所得が高ければ預ける、雇うなどできるのでどちらかが休まなければならないと考えるより、人を雇える程度の収入があるように給与を増やす方向性のほうが余程いい。
22	結局、本人の意識の問題
23	男性の意識改革ができるアイデアをいろいろな場所に働きかけてもらいたい
24	家事・育児・介護を分けて取り組むとよいのではないのでしょうか。
25	男女ともに経済的・時間的余裕を持てる経済政策が必要だと思う。
26	男性が働き続けなくても育児代が手に入る保証制度を整える
27	経済格差の是正、給与所得拡大
28	託児所、家事代行、介護代行などを行政が補助するサービスの拡充
29	課税等の金銭的な制度見直し
30	企業に対しての支援制度。

問12. ドメスティック・バイオレンス（DV）やデートDVなどあらゆる暴力や様々な悩みなどに関する相談窓口などについて

1	色々な所で見かけるが、どれか覚えていない
2	必要な場合には電話帳などで調べて通報するつもり
3	機関は知っているが番号までは覚えていなかった
4	相談窓口があるという事は知っている
5	ネットで調べればすぐわかるということは知っている
6	松江警察署（28-0110）
7	何か相談先はあるとわかっている。いざとなれば調べるつもり。

問15. 「男女共同参画社会」を実現するために、松江市は、今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。

1	田舎で買物にも出掛けられない老人がいます。施設は順番待ち！
2	「男」「女」という括りにより傷つく人はいないのか考えてみるべき
3	バスの減便でタクシーを使う方も増え、タクシーも台数が限られてタクシーに乗れない人の送迎は結局子ども（特に女性）がしなければならず、そのために仕事を休みと一見関係ないようなところからも目に見えない家庭への負担は増しています。子と親のこと両方をしていると休みが自分のために使えず、子どもの風邪で休んでいると、その後うつされて自分が風邪をひいても休めず仕事をされているお母さんも一般的というくらい話を聞きます。大きなところだけではなく、一見回っているように見えても負担が大きいところもあると思いますので、そうしたところにも目を向けて頂けたらと思います。
4	収入を上げて女性のみが働いても生活が出来るようにしてほしい
5	幼少期からの意識教育
6	経済の活性化、建て直し、県外のお金を県内（松江市）へ入れる方法を考える。松江市の経済がよくなれば人口も増える→税収もアップ。その方法を考えることが大切では。みんな（県外の企業の方）が松江市に1つ魅力を感じる事があれば人も集まってくると思います。その1つとしては電気代の減額。他都市にはない立地（原発立地市）を活かす
7	教員の働き方改革と教員を増やす
8	平等より公平が必要
9	障害者への支援制度
10	賃金のUP、女性登用の際の家庭、個人支援
11	そもそもある一定数の女性が自分達を被害者であると周囲に言う事が増えていると思う。普通に仕事したり、楽しく生活している女性の方が多いと思うが、その少ない人々の為に力を入れるのは、今ではないといけないのかと思う。男性も看護をしながら、仕事を遅くまでしている人も大勢いる。だから男性、女性を区別、差別しないという事の前に、自らが被害者だと言いふらす人や、自分が思っている事ができないうすぐ SNS 等で騒ぐ人を減らす様にしてほしい。本当に助けてほしいと思っている人達が埋もれてしまう。

12	行政が何かをしたとしても…今の50代以上の男性が変わらないと何も変わらない。TVで見聞きしても他人事のようにしている。それどころか、若い子達が夫婦で学校行事等に参加することを怠けやおかしいとしている。50代の女性の意識も変えないとダメですけどね。難しい課題だと思います。
13	松江の（島根県民性）本音と建前的な考え方
14	学習しても制度化しても無駄、効果薄い。義務化と全ての企業の抜き打ち点検、そのための助成金又は補助金。中小企業は資金繰りが苦しいことが多いため、財政難、人を雇えない、休みも与えられない
15	女性が働きやすい環境をつくることと、男性が家事労働に従事することはセットであると考え。女性にばかり働かせ、家事もさせるのは共同参画とは言えない。また働きながら育児や介護をすることを可能にするため、受皿を増やす必要がある。在宅勤務しながらの育児や介護ははっきり言って不可能。会社側はその人が育児や介護で休んでも仕事が回る仕組み作りを力を入れるべきである。又、男性の育児休業取得は大いに賛成であるが、育児を女性に丸投げして遊び回る人もいるため、小学校から家事育児に関する教育が必要であると考え。モデルになれるような男性の働き方の学習を早いうちに公教育で行うべきである。家庭や近所では学べないのが現状である。
16	学校の授業で男女共同参画社会実現を考えてもらうと、実現が近づくと思う
17	男女に関係なく就労について価値観を変えていく社会づくり
18	給料の値上げ
19	性別を問わず暴力防止、根絶へ向けて取組を強化すべきである
20	女性が仕事に重点を置くと確実に少子化に向かいます。女性自身、仕事をせず夫に収入の柱になってもらい、自分は子育てに専念し家事を優先したいと思っていると思う。そういう方は半数を超えていると思います。パートナーの収入が不足しているから仕方なしに仕事に就いている方が多数だと考えます。自分がどんな生活をしたいかで決定すると思う。全ては自己責任です。
21	問9の回答内容の取り組み
22	市民税の減税による可処分所得の増加
23	男女共同参画社会なくて、男女障害者共同参画社会につけてほしい
24	宅食サービスなど家事負担を減らすサービスへの補助

25	真に男女平等と言える社会とはどんな社会かを再考する
26	経験上、成人の意識を変えていくのはとても難しいです。
27	「男女共同参画社会」のネーミングが抽象的でピントを合わせにくい。具体的案とクロスオーバーする表現が必要。単純に（子育て、介護）の分担の在り方を判りやすく紹介していくべき。官と民の意識の差がギャップになっている。発想が公務員的で現実性が低い。
28	いわゆる有識者や名士といわれる方だけでなく、市民ひとりひとりが（こういうアンケートも含めて）参加型になるような形は、今後さらに必要と思います。一部かもしれませんが（もともとの松江市民以外への）疎外感や差別的な見方などがなくなっていくことが大事だと思います。お世話になります。よろしく申し上げます。
29	男性に対する暴力の防止への取り組み
30	男性が家事をやりたくなるようなコミュニティ作りやTV番組づくり（地元出身タレント起用）
31	子どもに関わる仕事をする者として、子どもにとって親の存在はとても大きなものだと感じる。両親がフルタイム+残業で働かなければ子どもを育てられない、またそれが当たり前では子どもの心は満たされない＝他に当たるしかない状況になると思う（暴力や不登校も）。少しでも働く親が時間に余裕を持てる働き方と収入があれば（そこを支援するもの）、今ある子どもの問題は少なからず解決するものが増えると思う。
32	出産を機に退職せざるを得なかった私の時代に比べ、育休、時短勤務等々、女性が活躍出来る地盤は少しづつ固まってきつつあると感じています。ただ、そのしわ寄せで苦しんできた人々も見てきました。あらゆる視点から考えていかなければならない問題だと感じています。
33	市職員と市民との思考のギャップを埋める努力をすること
34	言葉や態度での暴力の防止への取り組み
35	その状況におかれてないことも多くわからない
36	活動していることやその内容をもっと市民にアピールすべきだと思う。
37	女性の政治参加
38	多額の税金を無駄に浪費する間違った政策ではないか。
39	いままで取り組んだことを再評価し、効果がないなら止める決断をするべき

40	DV に関しては、男性が女性に対して行う暴力ばかりが取り沙汰されているが、逆に女性が男性へ暴力を振るうことも DV であると周知すべきである。以前、某テレビ局であったドラマのタイトルで「夫よ、死んでくれないか」というものがあったが、これに文句をつける人が男女差別と叫ばれるのが昨今の日本。逆に「妻よ、死んでくれないか」というタイトルは許されなかったであろうことは想像に難くない。男女平等を謳うのは大変素晴らしいことではあるが、現状の男女平等推進は女性優遇を進めているようにしか見えない。機会を均等にすることが平等。
41	質問の内容に違和感があります。14 の女性に対する暴力とありますが、男性に対する暴力もあると思います。異性に対する暴力と質問した方が良いと思います。
42	経済的な余裕による生き方の選択肢の多様化の実現。
43	経済格差の是正
44	提供していることの周知